

にいかっぷ

HOKKAIDO NIKAPPU TOWN

議会だより

2013.11.8 / 発行

No.194

第3回定例会



- ▷ 第3回定例会の日程 2P
- ▷ 行政報告の質疑 2P
- ▷ 一般質問 / 2議員が2項目を問う 5P
- ▷ 審議した議案等
 - ／平成25年度補正予算 7P
 - ／指定管理者の指定ほか 8P
- ▷ 浦河赤十字病院の精神神経科存続を求める決議 9P

目指せ！未来のニッポン代表!!

9月8日、新冠ライオンズクラブ主催の少年サッカー大会が開催され、管内9団体23チームが各部門に分かれ熱戦を繰り広げました。

新冠サッカー少年団は3つある部門のうち、選抜の部・2年生以下の部で優勝を成し遂げており、日々の努力が実ったものと思います。

次の大会も頑張りましょう!!

一整備への助成

所運営

◆学校のいじめ問題など

行政報告に質疑集中!!

平成25年第3回 定例会の日程

○9月19日

開会 午前10時10分

閉会 午後5時10分

- 1 会期の決定
- 2 諸般の報告（議会関係の諸行事）
- 3 行政報告（町長・教育長）
- 4 一般質問（2議員2項目）
- 5 教育委員の任命
- 6 報告5件（平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率ほか4件）
- 7 専決処分2件（補正予算）
- 8 認定7件（平成24年度各会計決算）
- 9 会議案1件（決算審査特別委員会の設置）
- 10 諸般の報告（右記委員会の委員長・副委員長の報告）
- 11 議案7件（指定管理者の指定ほか）
- 12 議案4件（一般会計ほか3会計の補正予算）
- 13 発委2件（意見書・決議）
- 14 発議1件（意見書）
- 15 会議案4件（閉会中の継続調査）
- 16 追加会議案1件（閉会中の継続審査）

小竹國昭 町長 行政報告

※質疑のみ掲載しております。町長が述べました詳細内容は町広報10月号をご覧ください。

質疑応答

◆日高エゾシカ総合センター整備事業への財政支援

但野議員

北海道は、エゾシカ肉ブランド力向上をねらい全国ではじめて狩猟肉検査に獣医師を関与させる体制を本年度中につくる方針を固めた。

その中で、獣医師に月1回程度の定期的な現地確認や指導、異常が疑われるケースはインターネット経由で画像の確認などを依頼することとした。

今回、この事業に国の補助金4千万円が付いたが、計画書提出時にこれらの経費等は試算されていなかったはずである。そこで次の3点を伺う。

- ①この情報はすでに入手していると思うが、いつ入手したのか。また、町と事業者はこの情報を共有しているのか。
- ②入手後、計画の見直しも行わなければならないが、その過程と内容を伺う。
- ③検査にかかる1頭当たりの経費と、それに伴う設備上の設計変更はあるのか。

堤産業課長

- ①正式な情報は町に届いていない。
- ②情報が届きたい検討する。
- ③費用についても情報が無い。

《再質問》

但野議員

今後、検査に係る経費が増えても国の補助金以外に支援しないと理解してよいか。

中村副町長

今回の助成は初期投資分であり、運営費に助成する考えはない。

秋山議員

- ①今後、住民との間に問題が生じた時に町はどう対応するのか。
- ②地域と協定を締結したと思うが、住民は何を不安としたか。

堤産業課長

- ①苦情等あれば適正な指導や改善を求めていく。
- ②悪臭や排水処理等の環境面だつたため、地域の方に他町の同様な施設を見ていただき、問題ない旨を確認し合意に至った。

※日高エゾシカ総合センターとは、増え続ける有害駆除されたエゾシカの食肉利用及びペットフードなどで有効活用を図る施設です。町はこの施設を設立する事業者に国を通じて4千万円を助成します。



◆エゾシカ総合センター ◆医師不足からの診療

日高エゾシカ総合センター予定地
(字緑丘 旧ユートピア加工施設)

◆診療所運営体制の現状とかかる対応策

鳴海議員

①現状は町の目指す運営体制とかけ離れているため、診療所の今後のあり方を徹底的に検討する時期に来ていると思ひ町の見解を伺う。

②近年の医師募集は、インターネット主体で医師定着しない現状から、町長・診療所事務長が地道に根気強く医局をまわることが、町民の信頼に応える人材確保につながると思うが。

小竹町長

①役場内でプロジェクトチームをつくり検討している。今年度中に方向性を示し安心できる体制を確立させたい。

②業界誌を通じたり、関係協議会等には足を運んでいるが医局へはまわっていない。今後その必要性はあるかと思っている。

《再質問》

鳴海議員

プロジェクトチームのメンバー構成は、事務職だけでなく医療従事者も含めて行うべきではないか。

中村副町長

医療・保健・福祉の観点で幅広いメンバーで検討したい。

武田議員

①医師不足等の状況を知らない町民も

いると思う。住民周知の徹底も必要でないか。

②今後の医師確保に向けての取り組みは。

③診療所の将来像をどう考えているか。

中村副町長

①町広報やチラシ等で周知を図っているが、完全ではないと思う。丁寧な情報提供をこれからも心掛けていく。

小竹町長

②粘り強く様々な手段で努力したい。

③内部で十分検討し示したい。決して現状がよいとは思っておらず改善する方向を進める。

秋山議員

各町と共同し医療体制の充実を図れないものか。協議の呼びかけが必要と思うが。

小竹町長

当町ですべての医療が可能なわけではないので、近隣の医療機関や苫小牧・札幌圏含め連携を取り、この業務にあたらなければと考えている。

◆節婦ふれあいタウンの引込開閉器端子の腐食等による過電流事故

武田議員

今後、どのような事故防止対策を取るのか。

道政建設水道課長

同様な公営住宅3団地含め、全箇所を点検し異常ないことを確認している。今後も定期的に点検を行っていく。

◆高規格幹線道路「日高自動車道」建設工事から発生する残土埋め立てに係る運搬作業道

竹中議員

この作業道は、移管後に町道として整備されるとのことだが、幅員4mでは利用したいのではないか。

中村総務企画課長

埋め立て完了後の整備時に道路幅も検討させてもらう。

《再質問》

竹中議員

それでは2度手間となり、無駄な経費がかかるのではないか。

中村総務企画課長

この道路は作業道として造られるため、開発局には申し入れたが4mとなった。

◆平成25年8月18日及び9月16日の豪雨による被災状況

◆浦河赤十字病院精神科の廃止方針

◆農作物の生育状況と販売状況

→の3項目には質疑はありませんでした。

※質疑のみ掲載しております。教育長が述べました詳細内容についても町広報10月号をご覧ください。

質疑応答

◇学校教育の推進

中川議員

いまだ終息していない新冠小学校のいじめの詳細は。

杉本教育長

昨年10月から悪口やかからかいが終息していない。

《再質問》

中川議員

学校は当事者の保護者とも面談し、家庭での指導は行っているのか。

杉本教育長

まだ話し合いが十分に進んでいない保護者もいる。

《再々質問》

中川議員

機敏に早く解決しなければ、最悪なケースにまで発展しかねない。その対策は。

杉本教育長

全学年に毎月同一テーマの道德時間を設けている。また、PTAも交えた登校時のあいさつ運動や指導主事の学校訪問、必要に応じPTA役員との協

議の場も設け、適切かつ迅速に踏み込んだ関与を図っていく。

武田議員

悪口や陰口に負けない子どもをつくるのが大切と思うが、その取り組みは。

杉本教育長

道德教育の充実から、あいさつ運動などを重点的に取り組んで人間の土台づくりを進めたい。成果はすぐには出てこないと思うが、児童会・生徒会活動などで人格を形成していくことが必要と考えている。

堤議員

いじめ防止条例を設けているところもある。効果があるか疑問はあるが、『町全体で子どもをいじめから守る・いじめに負けない子どもをつくる』観点から検討の余地はあるのではないか。

杉本教育長

国は法律を設け9月から実施している。これに基づき北海道でも条例化を進めているので、どのような環境づくりができるか検討したい。

中川議員

全国学力テストの結果は全道平均を下回っているとのことだが、日高管内は全道で何番目に位置しているのか。また、成績が上がらない原因をどう分析対策を図るのか。

杉本教育長

10番台と下位に位置している。

この原因は、学校授業のあり方や家庭での生活習慣・学習時間の短さなど複合的な要素と捉えている。校長経験のある指導主事や教育委員会の学校訪問を増やし、指導を充実させて子どもたちの学力向上を図りたい。

竹中議員

全国学力テストで中学生は2ポイント下がったが、この要因は何か。

杉本教育長

毎年、問題や難易度が変わることが挙げられる。



新冠小で行われた地域参観日の模様

◇認定こども園ドレミの教育・保育

◇社会教育の推進

→の2項目には質疑はありませんでした。

決算認定

特別委員会で慎重審議

平成24年度各会計決算認定は、監査委員の審査意見を付けて本会議にかけられ、慎重に審議するため議長及び議選監査委員を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、同委員会にて閉会中に継続審査することを決定した。

◇一般会計等決算審査特別委員会

◎委員長 椎名 徳次

◎副委員長 山田 祐三

決算審査特別委員会は議場で審議します。定例会や臨時会と同様に自由に傍聴できます。

日程は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

人事

教育委員の任命

(全員挙手で同意)

【内容】教育委員を務めている幸山右文さんが本年9月30日をもって任期満了を迎えるため、後任委員に氏家良美さん(東町38歳)の任命に同意した。

氏家さんは平成24年から社会教育委員を務めており、教育に関する幅広い見識をお持ちの方です。

任期は4年です。

一般質問

町政のここが聞きたい

第3回定例会での一般質問は、質問と答弁内容を要約して登壇順にお知らせしています。詳しく知りたい方は、議会事務局及びレ・コード館図書プラザで閲覧することができます。

学校教育



但野裕之議員

Q 学校司書・司書教諭の配置を

A 図書プラザを活用する

但野議員

本町は社会教育事業としてブックスタート事業を展開し、特色ある図書プラザ事業で小中学生に読書の興味を持たせようとする努力がうかがえる。こうした中で、読み聞かせの会や学校図書ボランティアなどが町民の中から自発的に組織され、他町と比べてもすばらしい読書環境が構築されているが、残念なことに小中学校には司書教諭や学校司書が配置されていない。

文科省の平成24年度学校図書館の現状に関する調査によると、全国各地の保護者や住民による働きかけと自治体の努力により、学校司書の配置は全国で小学校48・8%、中学校48・2%、高校67・7%となっている。本町における乳幼児期から構築された読書環境が、小中学生期に欠落している現状は残念極まりない。学習指導要領においても言語活動の充実・探究的な学習などが求められ、学校図書館がまず図書館として機能し、児童生徒の学びや読書活動における役割を果たすためにも、司書教諭や学校司書の配置が必要不可欠と思いを伺う。

杉本教育長

学校図書館法で専門職の司書教諭を置かなければならないが、その中で11学級以下の学校は当分置かないことができるため、本町では配置していない。本町では平成13年度に施行された子ども

もの読書活動の推進に関する法律に基づき、平成23～27年度を計画期間とする『子どもの読書活動推進計画』、『いきいきふるさと教育』、『学校・家庭・地域が一体の生涯学習を通して』をつくり子どもたちが読書活動を通じ豊かな心を育み健やかに成長できる環境を整備し、総合的かつ計画的に施策を展開している。

学校教育における学校図書館の重要性は必要不可欠であり、各学校で校務分掌に図書係を必ず位置付けて担当教諭が蔵書の管理・選書等の業務を行っている。学校教育と社会教育の融合の取り組みとして、図書プラザと連携し有効活用を図り読書活動を推進したい。

《再質問》

但野議員

文科省は学校図書館整備5カ年計画により、平成24年度を初年度とする5年間で図書整備に約1000億円、新聞一紙の配備に約75億円、学校司書の配備には単年度で約150億円を地方財政措置している。このような措置があれば、学校司書の形態は常勤・非常勤と勤務体系も給与体系も様々となるが本町に合った形で次年度に向けて配置を進めてはどうか。

杉本教育長

読書活動推進計画の進み具合を見て、成果と課題を検証した中で前向きに検討したい。

Q 小型家電リサイクル法の対応は

A 来年度実施に向け検討



秋山三津男議員

秋山議員

今年4月から「小型家電リサイクル法」が施行され、使用済みのデジタルカメラやゲーム機・パソコンなどの小型家電の再資源化を促進していくことが大事である。「都市鉱山」と呼ばれている貴重な資源を有効活用し再利用を促進するためにも大いに知らせ、自治体ぐるみでリデュース・リユース・リサイクルを進めていく必要があると思います、新冠町としてどのような対応をしていくのか伺う。

小竹町長

この法の対象となる家電は28分類あるが、どの製品を回収するかは各町に委ねられている。

回収方法は、回収ボックスを公共施設等に設置し排出者が直接投入する「ボックス回収」。

定期的に行っている資源ごみ回収に併せて分別区分を設けて回収する「ごみステーション回収」。

一般廃棄物として回収した燃えないごみから選別する「ピックアップ回収」などある。

この制度を導入する場合には、効率的な回収方法や認定事業者への引き渡し方法の検討や対象とする小型家電の品目選定をどの程度とすべきか、携帯電話やパソコンなどの情報盗難防止対策など検討すべき課題もある。

また、実施する国の認定事業者は道

内の収集区域で6〜7社が想定されているが、本年8月現在で認定された業者は2社だけである。

この対応は、資源の有効利用やごみの減量・最終処分量の削減にもつながることを踏まえ、循環型社会形成の観点からも当該家電の回収を進めていかなければと考えている。制度導入に向けて収集方法や体制等に関し、日高中部衛生施設組合と協議を進め来年度から当該家電を回収する方向で検討したい。

※リデュース・リユース・リサイクルとは・

リデュース 発生抑制

リユース 再利用

リサイクル 再生利用

3Rとも呼ばれ、ごみを減らす方法であらわしたものです。



専決処分

◎平成25年度一般会計補正予算

(全員挙手で原案承認)

【内容】8月18日の豪雨で町道や河川などに被害を受けたので、早急に復旧するため重機借り上げで対応した予算を専決処分するもの。

但野議員

行った箇所・業者・施工期間の説明を願う。

道政建設水道課長

道路は里平・共栄・節婦・万世地区と岩清水ダム線5カ所。河川は若園・新栄・新和地区各1カ所。8月19日に4業者に発注し完了している。

《再質問》

但野議員

業者選考について以前伺ったが、最初の問いでは現場近くの業者。2度目の問いでは当番制と答弁が違ったが、今回はどのように選考したのか。

関口建設水道課総括主幹

今回は災害で緊急を要するため、Cランク業者と各地域のパトロール担当業者に発注した。

※新冠町は、指名願いを建設関係業者に提出させて会社の規模や従業員数等からA〜C業者とランク付けし、各工種によって発注しています。

平成25年度

補正予算の審議

事業予算と質疑Q&A

一般会計

【内容】既定予算に9349万9千円を追加し53億4636万7千円とした。

歳出 農林水産業費

▼コンブ礁造成事業補助金

補正金額 681万円

鳴海議員

全体計画と補正事業費の内訳等詳細な説明を願う。

堤産業課長

ひだか漁協が節婦漁港西側に設置するもので、総事業費978万6千円に対し681万円補助する。

この中には道の補助金もあり、町の純粋な持ち出しは251万円である。

《再質問》

鳴海議員

規模ほどの程度か。

堤産業課長

コンクリートブロックのコンブ礁で面積が360㎡。2mの立法体ブロックを40個布設する。

【農林水産業費のその他主な補正予算】
▼治山維持工事 150万円

歳出 商工費

▼西泊津パークゴルフ場隣接町有地 樹木根撤去

竹中議員

撤去の理由は。また、コースの現状は樹木が混み暗いと思うが対処方法は。

堤産業課長

レ・コードの森ニータウンの隣接地の並木が強風で倒木したため、危険かつ美観上も好ましくないため根を含まれ除去する。

樹木の現状は芝の植生にも悪影響なので来シーズンに向け対応したい。



コース内樹木の現状

▼被災地宮城県山元町との

今後の関わり

堤議員

東日本大震災から2年半が経過し当町も職員の出遣を含め山元町に支援を行ったが、今後も交流を続けていくことが我が町のためにもなると思う。今後どう関わっていくか考えを伺う。

中村副町長

現在、復興の途中なので状況見ながら検討したい。

【商工費のその他主な補正予算】

▼日高エゾシカ総合センター整備事業補助金 4000万円

歳出 教育費

▼青年の家のような公共施設の活用

中川議員

青年の家は、複数の団体会合希望日が重なることもある。その場合、生活館や本町多目的交流センターなど活用できないか。

中村副町長

町条例や建設補助金の規制があり、管理面では自治会に協議・理解を得なければならぬ。また、消防法をクリアする設備や管理者の設置など難しい問題があるので、検討には時間をいただきたい。

だきたい。

【教育費のその他主な補正予算】
▼新冠小学校教室改修工事

歳入

【歳入の主な補正予算】

▼国庫補助金― 地域経済循環創造事業交付金 4000万円

※日高エゾシカ総合センター整備事業に係る国からの交付金です。

▼道補助金―地域づくり総合交付金 (コンブ礁造成事業) 430万円

歳入歳出全般

歳出 農林水産業費

▼狩猟用具購入費補助金

補正金額 13万9千円

椎名議員

この補助金は銃器購入費で、銃所有までの資格取得経費が最も要するため補助制度の基準を変えるべきと考えるが。

堤産業課長

現状、そこまでの制度しか設けていない。

国保診療所事業特別会計

【内容】既定予算に363万8千円を追加し4億3649万8千円とした。

▼救急等医業務負担金

補正金額 600万円

秋山議員

静仁会静内病院へ支払うとのことだが、静仁会は24時間対応でこれまでも新冠町民を診てもらっていたものが、今になりなぜ負担金が発生するのか。

有田診療所事務長

当診療所に対応できないケースを受け入れしもらうための負担金である。

《再質問》

秋山議員

今まで当診療所に対応できなかったケースは静仁会でも診てもらえなかったのか。

有田診療所事務長

専門診療科目以外の救急患者が訪れた時は、医師の指示で近くの救急指定病院に搬送している。

指定管理者の指定

【内容】地方自治法の規定により議会の議決を求められたもので、次の4施設の管理者をそれぞれ指定するもの。

(挙手多数で原案可決)

◎新冠温泉レ・コードの湯

・指定管理者となる者

(株)新冠ヒルズ

・指定期間

平成25年10月1日から

平成28年9月30日

◎新冠町西泊津ヒルズパーク

・指定管理者となる者

(株)新冠ヒルズ

・指定期間

平成25年10月1日から

平成28年9月30日

◎いかつぶホロシリ乗馬クラブ

・指定管理者となる者

(有)いかつぶホロシリ乗馬クラブ

・指定期間

平成25年10月1日から

平成28年9月30日

◎道の駅「サラブレッドロード新冠」

・指定管理者となる者

(有)いかつぶホロシリ乗馬クラブ

・指定期間

平成25年10月1日から

平成27年9月30日

椎名議員

道の駅のみ2年間とし、改修に向け計画を立てることだが、現在営業している2店舗はどうなるのか。行き先などはどう考えているか。

中村副町長

今年度リニューアルに向けたプロ

ジェクトをつくった。その中で施設の改修に併せて検討しているので現段階では白紙である。

財産の取得

議会の議決が必要な財産の取得(予定価格1千万円以上)が提案され、全員挙手で原案のとおり可決した。

◎中型バス

—内容—

数量及び型式 1台

メルファデラックス

取得の目的 児童生徒輸送用

スクールバス

取得金額 1711万5千円

契約の相手方 (株)伊藤商会

竹中議員

導入にあたりハイブリッド型は検討しなかったか。

坂本管理課長

今回の更新では検討していない。

《再質問》

竹中議員

経済的效果や環境面から見ても今後検討する必要があると思うが。

坂本管理課長

今回で古い型式の車両は一段落した。次期の更新で検討したい。

意見書の提出

町民の声として議員提案により次の意見案が提出され、原案のとおり可決し政府関係機関等に提出しました。

①道州制導入に断固反対する意見書

提出者 議会運営委員会
委員長 鳴海 修司
(挙手多数により原案可決)

—一部抜粋—

我々議会は、町村や国民に丁寧な説明や真摯な議論もないままの導入は反対と要請してきている。

しかし、与党・野党の一部では導入を目指す法案を国会へ提出する動きが依然としてみられ、我々の要請を無視するかの動きをみせている。

道州制は、ほとんどの町村で事実上の合併を余儀なくされ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。効率性や経済性を優先し地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするもので到底地方自治体と呼べるものではない。

よって、新冠町議会は道州制の導入に断固反対する。

※道州制とは、都道府県を合併し州に統合することで、国の機能を外交・

財政・金融等に限定し、それ以外は地方の州に機能を分散させます。

②原発のない北海道の実現を求める意見書

提出者 秋山 三津男
(挙手多数により原案可決)

——一部抜粋——

福島第一原発事故から約2年半が経過するが、いまだに事故の原因は解明途上である。北海道電力の泊原発で福島原発のような事故が起きれば、食料生産基地の北海道は、壊滅的打撃を受けることは必至である。だから、いまでも道民の過半数が原発のない安心・安全な北海道を願っているのである。

ところが、北電は営利優先で再稼働申請書を原子力規制委員会に提出し、北海道知事は北電に何ら意見も述べず、安倍内閣・自公政権では規制基準をクリアした原発を順次再稼働させると公言した。今、国がやるべきことは福島第一原発事故の原因解明と事故の早期収束、被災者への完全賠償と被災地の復興に全力を挙げることである。



決議書の提出

浦河赤十字病院の精神神経科存続を求める決議

提出者 議会運営委員会
委員長 鳴海 修司
(全員挙手で原案可決)

——一部抜粋——

浦河赤十字病院は、管内唯一の地域センター病院として地域住民の安心で安全な暮らしを支えている。

現在、浦河赤十字病院では機能の充実と体制強化のための増改築工事が進められ来年3月末に完了する予定の中、8月26日に新冠町に収支の赤字を理由に来年3月末で精神神経科を廃止する意向を伝えてきた。

日高管内の高齢化率は全道平均を超える30%に迫っており、今後も受診を必要とする認知症患者が増加していくことは確実である。

廃止の意向は地域の理解は得られていない状況で、存続の道を探るための協議も十分に行われることもなく、廃止ありきであれば、地域としては収支の赤字を理由に他の診療科も相次いで廃止されるのではないかと、これまで構想されてきた地域と病院の信頼関係にも大きな影響があるものと危惧される。よって、存続を強く要望するものである。

報告

※本件は日高管内町村議会議長会の取り組みとして、10月2日浦河赤十字病院・本社・道支部に管内全町の議会がこの決議書を提出しております。

◎平成24年度健全化判断比率及び資金不足比率

【内容】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、議会に報告し公表するもの。

【新冠町の健全化判断比率】

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	14.8	46.1
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	40.0	35.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字を生じていないため「-」で表記してある。

※実質公債費比率、将来負担比率とも基準以内である。

【新冠町の公営企業の資金不足比率】

	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計
資金不足比率	-	-
経営健全化基準	20.0	20.0

※資金不足を生じていないため「-」で表記している。

委員会の活動状況

平成25年7月21日から10月30日まで

総務産業常任委員会

○7月22日

町道の起点及び延長の変更認定ほか

○9月3日

道の駅リニエール・プロジェクトの設置ほか

○9月10日

日高エゾシカ総合センター整備事業

社会文教常任委員会

○9月2日

診療所運営体制の現状と対応策ほか

新冠町農協財政支援調査特別委員会

○10月4日

系統組織による支援措置

議会運営委員会

○9月18日

第3回定例会の運営

議会広報特別委員会

○10月9日・24日

議会だより第194号の編集

『こころ』 ～素晴らしい新冠!～



☆字北星町 椎木 直和さん☆

今年4月に千葉より移住し観光協会に勤めています。
昔から競馬が好きで新冠にも何度か訪れていました。9年前に日本一周をしたことがきっかけで「いずれは北海道の日高に住む」と思い立ち、「なるべく地域貢献にもなる仕事で生きていく」を目標に機会を伺っていました。それが今回色々なご縁もあり、新冠に移住かつ地域貢献度の高いこの仕事でお世話になることができ、目標の一步を踏み出せたことは、本当に嬉しい限りでした。

あれから半年、まだまだ町内すべてに詳しいとは言えませんが、様々な方との関わりの中で新冠の文化や特性に刺激され、新しい感動や驚きを発見する充実した日々です。そしてこちらで生活をして改めて感じますが、新冠は訪れて心が穏やかになる場所がたくさんある素晴らしい町です。

これから一町民としてさらに新冠生活を楽しみつつ、観光協会の職員として、新冠の良さと楽しさをより引き出し、全国に伝え実感してもらい、新冠ファンを増やせるよう力を注いでいきます。

topics まちの話題

第8回ふれあいフェスタ2013
～体験や交流を通して楽しめる
『ふれあいの場』～

9月22日、新冠ほくと園主催によるフェスタが晴天の中で開催されました。

子どもからお年寄り・障がい者など地域の誰もが参加してふれあいの輪や交流の中からお互いを理解し、支えあうことの大切さを感じとれる場所として開催されました。

当日はたくさんの催しの中、ステージの音楽発表を楽しんだり、豪華賞品が当たる〇×クイズ・大抽選会などで盛り上がり、参加者は当たった景品を手を楽ししい1日を過ごしました。

節婦自治会など多数の団体の協賛で温かなフェスタに! これからも期待したいです!



あとがき

▽2020年のオリンピックが東京に決まったことは国民にとつて、嬉しいことだと思えます。

▽一方で被災地の復興を忘れてないで下さい。故郷を追われた人々はどんなに帰りたいことでしょう。▽故郷には花が咲き、果実が実り、たくさんの農作物もとれ、最高の土地だったことでしょう。

▽7年後、子ども達に日本選手が活躍するオリンピックを見せてほしい。オリンピックはスポーツだけでなく平和の祭典でもあるのです。

今号のあとがき担当

秋山 三津男

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 但野 裕之 |
| 副委員長 | 秋山 三津男 |
| 委員 | 鳴海 修司 |
| 委員 | 竹中 進一 |
| 委員 | 堤俊昭 |

発行責任者

議長 長芳住 革二

この議会だよりは、会議録に基づいて議会広報特別委員会が内容を要約し掲載しています。詳しい内容をお知りになりたい方は、新冠町議会の情報は町ホームページをご覧ください。また、レ・コード館図書プラザに「閲覧用会議録」を配備していますのでお気軽にご覧ください。【年4回発行】

■発行／北海道新冠町議会 〒059-2492 新冠郡新冠町字北星町3番地の2 ■編集／議会広報特別委員会
☎ 0146-47-2559 (直通) ☎ 0146-47-2500 町ホームページhttp://www.niikappu.jp

